

2024年8月9日 (金)

15:00~16:30

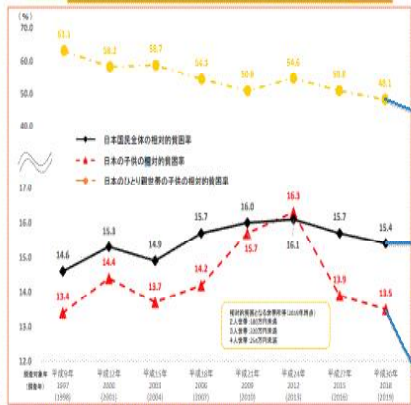
# 貧困家庭への支援を考える ～ヤングケアラーを見据えて～

那珂市教育支援センター  
スクールソーシャルワーカー  
木田 佑

## 研修の流れ

- ▶ 貧困とヤングケアラーの現状と課題
- ▶ ヤングケアラーの支援
  - ① 早期発見、アセスメント
  - ② 初期対応、本人へのケア
  - ③ 家庭支援、家庭介入
- ▶ 休憩 (10分)
- ▶ グループワーク【ケース検討】
- ▶ 感想・シェアリング・質疑応答

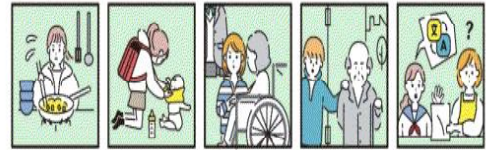
### こどもの貧困の現状 子供の相対的貧困率の推移



最新の調査では (令和3年) 子どもの相対的貧困率は 11.5% (2022) で、前回 (2018) よりも下がっている。(青い? が最新調査の結果)

### ヤングケアラーとは

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話を日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。



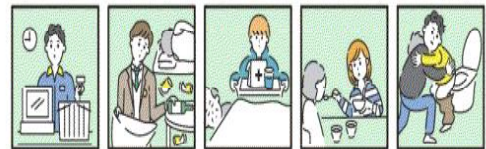
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。

障がいや病気のある家族の世話をしている。

障がいや病気のある家族の世話をしている。

障がいや病気のある家族の世話をしている。

障がいや病気のある家族の世話をしている。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。

障がいや病気のある家族の世話をしている。

障がいや病気のある家族の世話をしている。

障がいや病気のある家族の世話をしている。

障がいや病気のある家族の世話をしている。

### 茨城県のヤングケアラーの実態調査

茨城県内中学生の4.5%が世話をしている家族がいる。対象は50%以上がきょうだい、次いで父母、祖父母。

対象	調査人数 (n)	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
中学生	14212	4.5	92.3	3.2
全日制高校生	15100	3.6	94.1	2.3
定時制高校生	902	9.4	88.0	2.5
通信制高校生	114	12.3	82.5	5.3

対象	調査人数 (n)	祖父母	父母	兄弟姉妹	きょうだい	その他	無回答
中学生	640	22.8	14.8	53.1	8.3	12.1	
全日制高校生	538	23.8	19.3	42.2	8.4	16.5	
定時制高校生	85	29.4	14.1	47.1	10.6	12.9	
通信制高校生	14	28.6	7.1	57.1	7.1	7.1	

茨城県ケアラー・ヤングケアラー実態調査より抜粋 (令和4年4月~7月)

### ②ヤングケアラーへの初期対応と本人へのケア

仮想事例を通してヤングケアラーの初期対応・ケアラーへのケアについて必要な視点や関わりを考えていきます。

- ① 学校職員と子どもとの関わりを見ながら、それに対する意見をシェアリングしていきます (関わりの例①-A、関わりの例②-A)

## ヤングケアラーに対する基本的なスタンス

- ・まずは本人や家族の努力や貢献に対する**労い**を。
- ・『指示』と『指導』よりも、『**支持**』と『**共感**』を念頭に
- ・『**相談できる大人**』『**信頼できる大人**』が支援の土台に。  
? 言葉には特に注意が必要（レジエメの末尾参照）
- ・ケアに関する相談内容を他者や家族に伝える場合は、**本人の同意を得てから**にする。※緊急性がある場合を除く。
- ・ケアをしていることを理由に家族や保護者を**責めない**。

## 即座に介入が必要な場合

- ▶ 児童生徒に**自傷行為**や**他害行為**等  
自身や周囲に危険が及ぶ可能性がある場合  
? 早急な医療機関への受診や  
市役所（こども家庭課）等との連携を検討
- ▶ 不眠や頭痛、腹痛、気分の落ち込みなどの身体症状や不定愁訴が長期間現れている場合（数週間～数か月）  
? 医療機関の受診の必要性を勧める。
- ▶ ケアラーと合わせて**虐待**（ネグレクト等）が疑われる場合  
市町村や児童相談所との連携。確認した事実による通告。

## 感想

- 貴重な話を聞くことができた。時間が足りないと感じたので、もっと時間を延長してほしいと思った。
- 自校でやれることは限られていると改めて感じた。同時にそのつもりがなくても、限界を決めてしまう怖さも感じた。毎回（毎年）、多くのことを学ぶことができ、ありがたい。
- 貧困家庭の実態の一部がよく分かった。これからき、自分で調べたり、専門書を読んだりしたいと思った。やはり、「本人と家庭のニーズ」が基本だと痛感した。
- 虐待とケアラーでは、把握した後の学校の対応のスピード感に差があると思う。今後も学校は、具体的な手立てを構築していくべきだと思った。
- とても勉強になった。たくさん目で事実を見たり、考えたりすることの大切さを改めて感じた。質問として、「ヤングケアラーである自覚がない子にどうアプローチすべきなのか」について教えてほしいと思った。→後日、文書にて回答済。
- 「誰のニーズなのか」によって、見方、対応、手順が変わりそうで、難しいだろうと思った。